

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
6月27日
第45号



タンジン（シソ科）

園芸用で有名なハゴロモソウをはじめ、サルビア属には約900種があり、薬用にもよく使われます。タンジンは、中国サルビアとも呼ばれ、学名は*Salvia miltiorrhiza*です。日本では自生しておりませんが、中国東北部では草地、水、辺、道端などに広く分布しているようです。園には、同じ薬用サルビアのセージが先日まで咲いていました。

タンジンの根は、生薬名で丹参（たんじん）となり、日本の漢方医学では使用しませんが、中医学では狭心症などによる胸痛に用いる冠元II号方や、動悸、不眠、不安を改善する天王補心丹などに配合されます。「丹参」とは赤い色をした人参の意味で、実際に根の外面は赤色です。園では、今回、株を入手し、鉢植えで栽培を試み始めました。温室前にあります。上手くいけば、7月中旬頃まで花を楽しめるようです！

ヒマワリ（キク科）

北アメリカ原産で、種子からリノール酸が豊富なヒマワリ油が取れます。花がいつも太陽の方を向いていますが、太陽に向かって回ることはありません。花は終わると、下を向きます！果実と花托（種子の付いた丸いところ）などを、民間薬として用い、果実は食欲不振、下痢止めに、花托は高血圧、頭痛、めまいなどに利用するようです。また、果実とヒマワリ油は食用としても用います。ゴッホでなくとも夏には無くてはならない情熱を感じるダイナミックな花が魅力的ですね！

今、こんな草木がたのしめます！

待ってま〜す！！